

市政トピックス

親と子でロボット作りに挑戦



十一月三十日・十二月一日の二日間、総合教育プラザで「親子でチャレンジ！ロボットスクール」が行われました。群馬大教育学部の教授と学生らの指導で、コンピュータ制御で障害物の中を走るロボットを製作。小学生とその親が力を合わせて、熱心に取り組んでいました。二日目の午後には競技会も行われ、「作る楽しさ」を実感。

中央通りのアーケードが新しくなりました。12月5日にはオープニングイベントが開催され、萩原市長らがアーケードの100分の1にあたる3×30のケーキに入刀。小さく分けて来場者に振る舞われました。また、ミニコンサートなども行われ、街のにぎわいを演出しました。



明るい新アーケードに

12月1日の「世界エイズデー」に合わせて、11月29日から12月4日まで市役所市民ロビーでエイズ啓発活動を実施。エイズに苦しむ人々への理解と支援のシンボルである「レッドリボン」のツリーやパネル展示、募金活動などを行いました。



エイズに理解と支援を

小説家の素顔に触れる



市立図書館で12月1日、文化講演会が開かれました。講師は、本市在住の「松本清張賞」受賞作家・横山秀夫さん。「小説の生まれる瞬間」と題したエピソードを交えての興味深い話に、受講者は真剣に聞き入っていました。

100歳おめでとう



五十嵐 政重さん
堤町

明治三十五年十二月一日生まれです。八十歳ころまで、一生懸命に養蚕をやってきました。今も週二回はゲートボールで体を動かしています。